

広田っ子

～本物の笑顔が輝く広田小～

佐世保市立広田小学校 学校だより
第5号 令和5年7月21日(金)
文責 井上 文典

「本物の笑顔」に簡単アクセス
広田小HP QRコード



校門への坂道をスキップで降りていく子どもたち 心は夏休み！



さあ！いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みです。1学期にしっかり頑張った827人です。夏休みはルールを守り、規則正しい生活をしながら、学校で学んだことをしっかり振り返り、学びを生かす「夏」にしてほしいと思います。

1学期は、ここ数年制限されていた表現活動を活発に行うことができました。教室からは元気な歌声が聞こえ、授業中ははっきりとした声で発表し、友達とも楽しく会話をする姿が数多く見られました。声を出せるということがこんなに素晴らしいことなのかということを実感した1学期でした。

4月、始業式では「学校にわくわくを取り戻す」という話をしました。その一つが「子どもらしい表現活動」の復活でした。はじめは、コロナ禍の生活が染みついていたせいか、歌声が小さかったり、あいさつの声に遠慮があったりしましたが徐々に大きく、はっきりと、そして大胆に表現する子がドンドン増えてきました。

5月から6月にかけて、児童会が中心となり、令和5年度の学校のキャッチフレーズをつくりました。たくさんの意見が出る中、それを束ねて「笑顔 わくわく 広田小」という素敵な言葉をつくってくれました（裏面に紹介）。運営委員会の子どもたちを校長室に招きこの言葉について語り合うとともに「言葉」を本物にするためには「行動」が大切だということをお話しました。このことは「いのちをみつめる強調月間」でも「正しいことはドンドン トコトン」という言葉で全校児童に伝えました。

7月、学期末を迎え、子どもたちの表情を見てみますと、マスクを外した子も多いせいか、ここ数年の中でもはつらつとしているように感じます。この表情にこそ「学校にわくわくを取り戻す」の答えがあるように思います。この子どもたちのわくわくを支えて下さっている保護者の皆様、地域の皆様に心から感謝しております。

これから長い夏休みに入ります。家庭、地域に帰る子どもたちをどうぞ見守ってください。よろしくお願いたします。



「ごめんなさい」が言える子どもたち

「ごめんなさい」の一言に、その子の心の柔らかさと強さを感じます。

「ごめんなさい」はとってもシンプルな言葉ですが、心のシーソーが必要な言葉です。

叱られる経験と同じように、反省とともに許してもらった経験がとっても大切です。

「ごめんなさい」が言える風土、環境も大切にしたいと思っています。

1学期は、「ごめんなさい」を言えた子たちの本物の笑顔に出会えました。これも校長の宝物です。

*登校日は8月9日(水)です。2学期の始業式は8月29日(火)です。

今年も児童会で広田小のキャッチフレーズをつくりました！

「笑顔 わくわく 広田小」

全校児童の思いや考えを聞き決定した言葉です。

これから、いろんな活動の中で生きて働く言葉になります。

子どもたちも、主体的に「本物の笑顔」をめざします。

「のぼり」もつくりました！ 校庭で爽やかに風に揺れています！



1 学期 終業式

“わくわく”のために「①思う②考える③計画を立てる④実行する」という話をしました

1 学期終業式 校長講話（一部抜粋）

今日で1学期が終わります。4月の始業式では、今年は学校に“わくわく”を取り戻しますというお話をしました。みなさんは学校でわくわくすることに出会えましたか？

“わくわく”を大きくしていくためには、まず自分の“小さなわくわく”を見つけることが大切です。そして、“小さなわくわく”に対して「もっと上手になりたい」とか「次は成功するように」「もっと仲良くなりたい」などの「思いや願い」をもたなければいけません。そして、さらに、その思いや願いを「考え」に変えないといけません。「考える」とは、どうすればうまくいくかを考えることです。そして、実現するための方法を2つ以上考え、より良い方法、続く方法、ゴールできる方法の一つ選ぶことです。

わくわくのための方法を考えたら、次は計画を立てます。この計画がとても大切です。計画ができたあとには実行するだけです。実行の時は本気で勇気を出して、遠慮せず大胆に行動します。これが成功のカギです。これを並べると「①思う」「②考える」「③計画を立てる」「④実行する」という流れになります。これは目標や願いを実現させるための基本的な時間の使い方です。逆の言い方をすると、この流れのどこかで「どうせ無理」とあきらめると夢や願いは遠くへ行ってしまう。実は、このことを幼い時から鬼ごっこやかくれんぼ等の遊びや今までに取り組んできたスポーツの中で自然に体験してきました。これを学習にも生かしていきたいと思います。

毎日の学習の中にも“小さなわくわく”をみつけることができます。前より少しでも「わかる」「できる」が増えることは“小さなわくわく”の種を見つけることになります。苦手なことがある人こそ、このわくわくの種があります。苦手なことがある人はこれからが楽しみです。

今年は「学級のわくわく」という点で、朝の活動から学習の時間をなくしました。これは学校にわくわくを取り戻すための考えです。計画も立てています。そして、「スマイルタイム」「わくわくDAY」という名前で大胆に実行していきます。

学校は勉強するところですが、勉強したことを自分や友達の笑顔のために学校生活の中で生かすところでもあります。ぜひ、2学期は「スマイルタイム」「わくわくDAY」の時間は学級で考えを出し合い、計画を立てて、実行してください。必ず自分たちの力で、今以上にわくわくする時間が作れると思います。ただし、みんなで考えを出すときに一番大切なことは思いやりをもって相手の話を聞くことです。なかなか意見が言えない人の心の中も考えてほしいと思います。

明日から始まる「わくわくの夏休み」こそ「①思う」「②考える」「③計画を立てる」「④実行する」という時間の使い方が重要です。特に夏休みの宿題や作品については計画が大切です。夏休みは、「思い」を実現させるためのトレーニングだと思って本気で考え、計画を立てて実行してください。

夏休みの成功は、必ず宝物になります。

1学期はみなさんの頑張りがたくさんあり、豊かな時間になりました。きっと夏休みも皆さんにとって素敵な時間になると思います。そうなることを心から祈っています。